

祇園の枝垂桜

九鬼周造

青空文庫

私は樹木が好きであるから旅に出たときはその土地土地の名木は見落さないようにしている。日本ではもとより、西洋にいた頃もそうであつた。しかしいまだかつて京都祇園ぎおんの名桜「枝垂桜」しだれざくらにも増して美しいものを見た覚えはない。数年来は春になれば必ず見ているが、見れば見るほど限りもなく美しい。

位置や背景も深くあずかつている。あお蒼く霞かすんだ春の空と緑のしたたるような東山とを背負つて名桜は小高いところに静かに落ちついて壮麗な姿を見せている。夜には更に美しい。空は紺碧こんぺきに深まり、山は紫緑に黒ずんでいる。枝垂桜は夢のように浮かびでて現代的の照明を妖艶ようえんな全身に浴びている。美の神をまのあた

り見るとでもいいたい。私は桜の周囲を歩いては佇む^{たたず}。あつちから見たりこつちから見たり、眼を離すのがただ惜しくてならない。ローマやナポリでアフロデイトの大理石像の觀照に耽^{ふけ}つた時とまるで同じような気持である。炎々と燃えているかがり火も美の神を祭っているとしか思えない。

あたりの料亭や茶店を醜悪と見る人があるかも知れないが、私はそうは感じない。この美の神のまわりのものは私にはすべてが美で、すべてが善である。酔漢が一升徳利を抱^{かか}えて暴れているのもいい。群集からこぼれ出て路端に傍若無人に立小便をしている男も見逃してやりたい。どんな狂態を演じて、どんな無軌道に振舞つても、この桜の前ならばあながち悪くはない。

今年は三日ばかり続けて散歩がてらに行つてみたが、いつもまだ早過ぎた。三日目には二、三分通りは花が開いていた。その後は雨に振り込められたり世事に忙殺されたりして桜のことを忘れていた。思い出して行つた午後にはもう青葉まじりになってチラリチラリと散つていた。七、八分という見頃から満開にかけてはどうとう見損つてしまった。

更に数日後に、花がないのは覚悟でもう一度行つてみた。夜の八時頃であつたらう。枝垂桜の前の広場のやぐらからレコードが鳴り響いて、下には二十人ばかり円を描いて踊っている。四十を越えた禿げ頭の男からおかつぱの女の子までまじっている。中折

帽も踊っていれば鳥打帽も踊っている。着流しもいれば背広服もいる。よごれた作業服を纏まとつたまま手拍子とつて跳ねている若者もある。下駄ぞうり、草履、靴、素足、紺足袋たび、白足袋が音頭に合せて足拍子を揃えている。お下げ髪もあれば束髪もある。私が振返つてすつかり青葉になつてしまつた桜を眺めている間に、羽織姿の桃割ももわれと赤前垂あかまえだれの丸髻まるまげとが交つて踊り出した。見物人の間に立つて私はしばらく見ていた。傍の男がこのくらいすくない方がかえつていいと呟つぶやいていたから、花盛りにはよほど大ぜい踊つていたものらしい。

知恩院ちおんいんの前の暗い夜道をひとり帰りながら色々なことを考え

た。ああして 月給取^{げつきゆうとり}も店員も運転手も職工も小僧も女事務員も町娘も女給も仲居もガソリンガールも一緒になつて踊っているのは何と美しく善いことだろう。春の夜だ。男女が入り乱れて踊るにふさわしい。これほど自然なことは滅多にあるまい。異性が相共^{とも}に遊ぶ娯楽が日本にはあまりになさ過ぎる。人間は年が年じゆう、朝から晩まで、しかめ面^{つら}して働いてばかりいられるものではない。たまにはほがらかに遊ばなければ仕事の能率も上りようがない。識者は思想問題や社会問題の由^よつてくるところを深く洞察すべきである。ああして一銭も要らずに誰れでもが飛び入りで踊つて遊べるといふのは何といいことであろう。こういう機会は大衆のためにしばしばつくつてやらなければいけない。生きるた

めにはみんな苦労がある。ああして踊っている間はどんな苦労も忘れていられるだろう。

おつ
乙な桜の アラ ナントネ

粹をきかした 縁むすび

スツチヨイコラ スツチヨイコラ

私の耳の奥にはまだ歌が響いていた。何のせいかわんぜんこんしんに喜びが溢れてくる。私はどこの誰れとも知らない彼らみんなの幸福を心のしん底から祈らずにはいられない気持になった。接木つぎぎをしたとかいう老桜よ、若返ってくれ。いつまでも美と愛とを標榜して

人間の人間性の守護神でいてくれ。

青空文庫情報

底本：「九鬼周造随筆集」菅野昭正編、岩波文庫、岩波書店

1991（平成3）年9月17日第1刷発行

1992（平成4）年9月20日第3刷発行

底本の親本：「九鬼周造全集 第五卷」岩波書店

1991（平成3）年2月第2刷

入力：鈴木厚司

校正：松永正敏

2003年8月20日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

祇園の枝垂桜

九鬼周造

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>